

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名称	宮城県仙南総合プール
指定管理者の名称	セントラルスポーツ株式会社
施設所管部課(室)	企画部スポーツ振興課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成24年4月～平成29年3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成29年4月～令和4年3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	
令和4年4月～令和9年3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	

※ 管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	セントラルスポーツ株式会社
	所在地	東京都中央区新川一丁目21-2茅場町タワー2階
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5か年)	
募集方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県仙南総合プール(ヒルズ県南総合プール)	
所在地	柴田郡柴田町大字本船迫十八津入地内	
設置年月	平成11年4月	
根拠条例等	総合運動場条例	
設置目的	スポーツ普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施設の内容	敷地面積	22,588.03㎡
	構造	鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建
	内容	温水プール、トレーニングルーム、スタジオ、会議室
開館(所)日	休館日(毎週水曜)及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日	
開館(所)時間	平日:午前9時から午後9時まで 日・祝日:午前11時から午後7時まで	
指定管理者が行う業務の範囲	1、施設全体の管理運営業務 2、施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3、施設の使用制限及び入場の拒否等に関する業務 4、施設の機械設備操作・日常点検業務 5、施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6、その他施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
開館(所)日数	307 日	309 日	307 日	100.0%	99.4%
延べ利用者数	2,738 人	30,590 人	7,795 人	284.7%	25.5%

※ 対象施設が複数ある場合は施設ごとに記入

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
プール	0 人	22,582 人	0 人	#DIV/0!	0.0%
トレーニングジム・スタジオ	2,677 人	7,501 人	7,690 人	287.3%	102.5%
会議室	61 人	507 人	105 人	172.1%	20.7%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	2,738 人	30,590 人	7,795 人	284.7%	25.5%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
県指定管理料	30,600	30,600	30,600	100.0%	100.0%
利用料金収入	947	6,541	1,130	119.3%	17.3%
その他	6,609	21,047	36,289	549.1%	172.4%
収入計 (a)	38,156	58,188	68,019	178.3%	116.9%

(2) 支出

人件費	20,879	21,739	24,132	115.6%	111.0%
施設管理費	25,551	32,353	20,603	80.6%	63.7%
事業運営費	2,093	2,205	2,774	132.5%	125.8%
その他	12,887	14,912	14,117	109.5%	94.7%
支出計 (b)	61,410	71,209	61,626	100.4%	86.5%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-23,254	-13,021	6,393	-27.5%	-49.1%
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
(1) 収入	(単位:千円、%)				
自主事業収入	6,609	18,396	8,375	126.7%	45.5%
その他	0	210	168	#DIV/0!	80.0%
				#DIV/0!	#DIV/0!
収入計 (a)	6,609	18,606	8,543	129.3%	45.9%
(2) 支出					
人件費	11,413	11,598	12,750	111.7%	109.9%
事業運営費	2,093	2,929	1,024	48.9%	35.0%
販売品仕入	67	26	12	17.9%	46.2%
諸経費	462	359	332	71.9%	92.5%
支出計 (b)	14,035	14,912	14,118	100.6%	94.7%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	-7,426	3,694	-5,575	75.1%	-150.9%
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(令和6年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

主な視点	項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
					評価		評価	
経済性	施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の巡回点検業務は限定箇所の実施に留まりながら、異常箇所の早期発見に努めた。 ・施設設備保守点検業務は、改修工事状況と照らしながら、滞りなく進めた。 ・突発した設備不具合を適切に対処した。 ・プール再開に向け、更新された設備を業者と連携し、問題なく稼働させた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・点検時に検出された不具合は適宜対処した。 ・改修工事に伴い後発した不具合は即時対応し、その後の作業工程に支障を与えなかった。 ・宮城県、施工主、協力業者と各工程を共有でき、工事進捗の一助となれた。 ・改修工事を経て、プール始動工程において発生した不具合を都度改善し、遅滞なく4月再開に備えた。 		S	日常的な保守点検はもとより、施設・設備等の不具合の際には、県との迅速な情報共有が図られている。改修工事により令和6年度はプール営業を休止していたが、敷地内の植栽等を長期的に維持管理しやすいように剪定や整備を行うなど、休止期間を有効に利用した管理がなされた。	A
	収支実績	<ul style="list-style-type: none"> ・前記『5管理運営収支実績』の通り。 		<ul style="list-style-type: none"> ・収入 68,019千円 ・対計画比 178.3%、対前年比 116.9% ・減収補填補助金(対象期間R6.2.1～R7.3.31)を賜った。 ・支出 61,626千円 ・対計画比 100.4%、対前年比 86.5% ・支出総額は計画近似値となった。 		S	改修工事に伴うプール営業の休止により、利用料金収入は大幅に減少している。減収補填補助金により、収支としては黒字となっているものの、再開後は安定した利用料金収入確保体制が求められる。	A
効率性	管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事に伴う人員体制を整えた。 ・接客、運営レベル向上の研修を実施した。 ・スタジオ指導者の育成、キッズスクールコーチ育成の研修を実施した。 ・個人情報保護、コンプライアンス研修を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・工事状況を鑑み、安全管理に即した人員配置にて来館者対応、施設メンテナンス、美化を通年において効率的におこなった。 ・監視業務と受付業務のハイブリッド化を進め、多様な業務をこなせる人材育成に取り組んだ。 ・接客サービス及び、指導レベル向上の研修、スタジオレッスン担当者、スクールコーチ研修を進め、プール再開に備えた。 		A	プール休止期間中の就業時間見直しなど、適切な調整・人員配置を行い、効果的な管理運営体制が図られている。	A
	人員体制	正規	3人	非正規	15人			
効率性	運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングジム初回利用講座を通年において実施した。 ・スタジオ活用として成人レッスン、キッズ体育、キッズチアダンスの各種体験を促進した。 ・キッズ体育においては、種目ごとの強化練習会を実施し、会員維持に努めた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ジム初回講座は年間数名の参加だったが、次年度での需要を想定し、対応スタッフの育成を進めた。 ・限られた運営状況の中で、スタジオの有効活用として、各種体験をHPより募った結果、特にキッズ体育には定期的に体験参加が認められた。 		A	プール営業の再開を見越したスタッフ研修を実施するなど業務運営の適正化に努めた。また、トレーニングルームやスタジオを活用した体験会の開催により、プール以外の施設利用促進に努めた。	A
	利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・前記『4施設利用実績』の通り。 		<ul style="list-style-type: none"> ・施設延べ利用者数 7,795人 ・対計画比 284.7%、対前年比 25.5% ・トレーニングジム利用が計画値より多く、想定以上の来館をいただいた。 		S	改修工事に伴うプール営業の休止により、全体の利用者数としては減少となっているものの、トレーニングジム・スタジオについては、事業計画・昨年度実績よりも増となっている。	A
有効性	利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各種情報を適切なタイミングで発信した。 ・本館、スタジオ棟、植栽整備などを通じ、利用環境の向上に努めた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のHP更新、メール配信、館内情報掲示、GoogleMapを通じ、適宜情報の発信をおこなった。 ・トレーニングジムエリア、更衣室、スタジオ整備を進め、トレーニング備品などは定期的に更新し、利用者サービスの向上に努めた。 		A	プール休止期間中においても、工事の進捗状況等をHP等で発信するなど、情報周知に努めた。また、令和7年4月の再開に向けてイベントの企画・周知に努めた。	A
	利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や要望を意見箱やスタッフ、HPから弊社カスタマーを通じ、ご意見の把握に努めた。 ・トレーニングジムエリアでの会話音量へのご意見を受け、状況への直接対応及び、注意喚起の掲示をおこなった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事という状況から、ご意見をいただくタイミングは少なかったが、都度真摯に対応しご理解を得られた。 		A	利用者からの要望や苦情に対し真摯に対応している。また、休館に関する苦情等についても適切に対応していた。	A
その他	県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> ・一部常連の利用者が優遇されることがないよう、トレーニング時の場所取りなど、注意喚起をおこなった。 ・HPにて施設案内経路、設備状況、利用料金などを分かりやすく掲載した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プール設備が稼働していない状況では、近隣住民の方々の利用が殆どだったが、利用においてはルールを遵守され、お互い心地良く使えているとお声をよくいただいた。 		A	貸切利用の予約状況など、適時HPからの情報発信に努めている。 既存の施設を有効に活用し、利用者の個別の状況に応じ、弾力的に対応している。	A
	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ出勤時CPR・AED訓練を徹底した。 ・消防避難訓練を年2回実施した。 ・自主事業スクールバス降車確認を徹底した。 ・毎時の館内巡回により、体調不良者や不審者、設備不具合箇所の発見に努めた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフによるCPR・AED訓練の精度は高く、意識が下がることなく、通年において実施できた。 ・消防避難、不審者対応など、定期訓練には意欲的に取り組んだ。 ・館内巡回は清掃のみならず、利用者の健康状況、設備不具合の発見に努めた。 		A	CPR(心肺蘇生法)トレーニングを義務化し、職員の研修機会も増やし、緊急時に備えている。 その他、災害発生時や不審者等の事案にも備え、利用者の安全対策を図っている。	S

主な視点	項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
				評価		評価
その他	個人情報の保護	・弊社マニュアルに則り、個人情報保護法に関するスタッフ研修を定期的実施した。 ・PCパスワード設定、施錠書庫、金庫にて情報管理に努めた。	・個人情報保護法はWEBにて共有の動画を全職員が視聴し最終確認テストにて理解を深めた。 ・個人情報へのアクセスには一定の手順を踏むことにより、漏洩抑止につながった。	A	個人情報に係るマニュアルの整備や職員教育等により、情報の漏えい、き損及び滅失の防止に努めている。	A
	自主事業の実施	・スタジオ成人運動プログラム、キッズ体育、キッズチアダンススクールを実施した。 ・トレーニングジム初回利用サポートを実施した。 ・気軽に参加できるショートレッスンを実施した。 ・キッズ体育短期教室、練習会を実施した。	限られた環境での、自主事業では会員数の増加には繋がらず、特にキッズスイミング会員の流出は通年において続いた。 ・トレーニングジム初回サポートは好評だったが、受講者は少数にとどまった。 ・どなたでも気軽に参加できる単体体操を設定し、朝の時間帯では好評だった。 ・キッズ体育の会員は堅調なまま推移し、練習会など意識高く参加をされていた。	B	プール営業の長期休館に伴い、会員数が大幅に減少したものの、スタジオ等を活用し、子ども向けの体育教室を行うなどプール以外の施設でも可能な限り事業を実施している。	B
	その他の取組	・柴田町水中運動教室へ講師派遣にて協力。 ・柴田町主催イベントにキッズチアダンス参加。 ・キッズ体操競技大会へ参加。 ・地域企業の就職説明会へ会議室を貸出し。 ・敷地内植栽の伐採規模を拡大。	・柴田町の要請を受け、水中運動教室への講師を派遣し住民の健康に寄与できた。 ・柴田町主催イベントには積極的に参加し、施設PRにもつながった。 ・弊社体操競技会へ参加し表彰台にも上がる活躍を通じ、施設PRの一助になった。 ・植栽整備を敷地斜面まで拡大し、大規模な伐採から、施設の視認性が向上した。	S	町の事業に協力し、地域活動に参加するなど、地域住民に開かれた施設として積極的にPRしている。また、長期にわたって敷地内に自生していた雑草や木を伐採除去し、施設の美化に努めた。	S
総合評価			通年において実施された施設大規模改修による特殊な運営状況のもと、可能な限り施設メンテナンスとスタッフ育成、トレーニングジム及びスタジオ運用に努めた。自主事業の会員数減少は著しいものだったが、減収補填補償金を賜うことができ、収益確保につながった。次年度は会員数減少の厳しいスタートとなるため、より一層、県民の施設利用を促進し、賑わいを取り戻したい。	A	改修工事に伴うプール施設の休館という状況下において、施設の有効利用、維持管理に努めていた。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	施設大規模改修工事により、積年の設備故障には最善のご対応をいただいた。今後も付帯設備の経年劣化は進むことから、スポーツ振興課ご担当の皆様とより一層の連携を図り、施設の恒久的な維持に寄与できるよう努めたい。 また、昨今の雇用者確保の厳しさ、最低賃金や管理費の上昇などの影響は大きく、利用料及び自主事業による収益確保には更なる工夫が求められる。プール施設本来のポテンシャルを取り戻したことから、弊社の持つ多様な施策を礎に施設周知と利用促進に注力したい。	令和7年4月以降プール営業が再開していることから、利用者の呼び戻し、新規開拓に注力し、安定した利用料収入確保体制の構築を期待したい。また、近年プールに関連する設備故障が相次ぎ、利用休止となる事案が多々発生したことから、指定管理者と連携を図り、専門業者による点検等を踏まえた計画的な修繕体制を構築したい。